

京都教区時報

特集 — 京都教区教務
小教区の頁 — 鈴鹿教会

第73号

発行所
京都市中京区河原町三条
カトリック京都司教区
広報室 (Tel 211-3768)
編集責任者 村上透磨
編集部 教理センター
田中司教認可

主にしたがいて

スタインバック師金祝



師はアメリカからの援助にだけたよるのではなく広く日本人に訴えながらこれらの施設、等をたてられた事が又多くの感動を呼んだ。戦後の食料調達には、軍用ジープを、山国精華、亀岡、園部等から走りまわって集められたり施設建設に際しては、募金運動等をされていた姿が目にかぶ様である。

師の教えは単純明かであり、又マリア様に対する信心は、緑のスカブラリオ運動を通じて、周知の通りである。

厳しい性格の中にあられる慈父の姿は、人々にオスタさんの愛称で親しまれている。

今精華にある老人ホームの仕事のかたわら特にスカブラリオ信心を広める事に精を出しておられる。

教区では、かつて師に薫陶を受けた、司祭信徒が集まり、司祭叙階金祝の祝いを計画、五月十七日、一時半、司教座聖堂に於いて、田中司教他メリノール会司祭はじめ教区司祭、各修道会司祭、教区内外の司祭12名による共同司式ミサが聖堂一杯に集った信徒と共に捧げられ、師の労をねぎらい、今後ますますお元気で、教会のため尽力下さる様祈った。

なおSr.ユーージニア(ノートルダム)誓願六十年Fr.アルミッセン(オパス・デイ)司祭叙階銀祝を祝われる。

▽6月7日① 聖霊降臨の主日

コンスタンチノープル第

1公会議一六〇〇年祭

エフェゾ公会議一五五〇

年祭式典

▽6月8日① 9日② 青少年司牧担当

者会議(名古屋)

▽6月10日① 11日② 神学生養成担当

者会議(東京)

▽6月13日① 14日② 第3回ビジョン

作り合宿

▽6月15日① 邦人司祭月例会

教区短信



▽6月23日① 26日② 世界宗教会倫理

会議

▽6月28日① 人権を考えるミサ

▽7月6日① 司祭評議会定例会

▽7月12日① 加悦、岩滝教会司教訪問

▽7月16日① 23日② 第42回国際聖体

大会(ルルド)

▽7月20日① 邦人司祭月例会

▽7月27日① 29日② 第12回全国カト

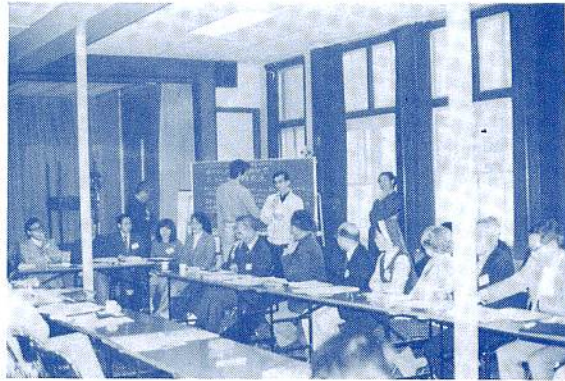
リック保育施設研究会

(京都)

だんだんと見えてきましたよ

着々とビジョンへの歩み

第三段階 ビジョン作り合宿(五月二日～四日)



加えることを希望しながら、地味な忍耐のいる努力を続けてきました。第二バチカン公会議以後、教会は果して刷新されたかと問いつながら、教会と自己のなすべきであったことを反省し、それを、なさなかったことに対しては今実現していることと決意するために、見直しをしてみました。そして、その見直しと決意の実現を各小教区、各修道院、各団体から、各地区、各グループに積み上げ、今やつと京都教区全体のもともめをする第二段階にたどりつきました。

(一) 第三段階は何をするか。

今まで各地区、各グループから成る9つの群に分かれて、それぞれの群のビジョン案をまとめてきましたが、今度の合宿から始まった第三段階では、この9つのビジョン案を更にまとめて、一つのものにするということです。この一つにまとめられたものが京都教区のビジョンになるのですが、唯言葉を合わせたものでは足りません。最初の段階で出された各小教区、修道院、団体のビジョン案が、この最終的にまとめられるビジョンの中に、何かの形で含まれることが大切です。言葉通りでなくても、一人一人の意思が現わさ

れているものになることです。

その為に、第三段階では、各グループ群からのビジョン案を、集った代表が自分たちの好みに従って選別するのではなく、出された案の一つ一つの意見を入れたものとしてまとめる仕事を先ずしました。それが、ケージー法(KJ法)によるまとめでした。三日間にわたる休日を使つての第一回の合宿による討議は、各家庭にかなりの犠牲を強いることになつてしまいましたが、どうしても必要だつたと思います。

ここで出てきたものを基に、五月十六日、十七日に、ニコラス師(イエズス会士、東アジア司牧研究所長)と共に神学的締めをし、六月十三日、十四日に第二回合宿をして最終的にまとめる予定です。

(二) 五月二日～四日の合宿の内容

この合宿は唯の勉強会ではなく、まとめをしていく為のものであることを初めて打ち出していました。前述のように、先づケージー法により、事務局が予めまとめたものにより、6つのテーマを決め、それに従つて参加された代表者が6つのグループに分かれて、各群からのビジョン案のまとめをしました。6つのテーマは、(1)教会組織の近代化。(2)生活の中で祈りと典礼をどう位置づけるか。(3)魅力と一致。(4)社会に対して教会はどのようななかわりを持つてゐるのか。(5)自己刷新。(6)青少年育成、で、それぞれ現在の京都教区の教会のかかえている課題と言えます。

まとめの仕方は、各グループ群から出されたビジョン案の趣旨の説明と質疑が行なわれ、他グループ群のものを理解してから、6つのテーマ別グループに分かれて、先ず教会の現状をそれぞれのテーマから認識することに努力しました。第一回合宿の仕事の半分以上がこの仕事に費やされたと言ってもよいと思います。その後、その現状になつた原因を探る仕事をしました。6つのグループがそれぞれ自分の与えられたテーマに従つて、何故現在教会の現状がこうなつてゐるのかを考えました。そして、更に次の仕事をして、その原因に対して、私たちはどうすべきか、何をしなければならぬのかまで話し合い、それを表にまとめて、全体で発表し合いました。紙数の関係で、その内容の紹介を次の機会に回したいと思いますが、このまとめと討議を通じて講師の方々の助言は非常に有益でした。浮田さんは、常に人間の尊厳を視点において、お互いを大切にすべきことを話され、石川師は、聖書のみことばを引きながら、教会、共同体、信徒の生き方を教えられました。松浦先生は、一信徒として哲学的な背景から人間の生き方を説かれ、棚町師は、合宿のダイナミックな進行の為に、常に助言をしながら教会と社会とのかかわりについて種々の示唆を与えてくださいました。

今回は、ただ報告だけに終りましたが、合宿の評価と反省については、後の機会にお伝えしたいと思います。(斎木)

(一) 第三段階まで

これまで私たちは、二年前から、この京都教区のビジョン作りに全教区民が参

司教の足どり

三月／五月



- 3月
- 16日 邦人司祭月例会
17日 同和問題宗教者結集集会(東京砂防会館) NCC代表面談(エキムニカル)
18日 亀岡教会新築起工式 K教会・S教会・N教会各信徒代表面談
19日 長岡幼卒園式・ウィチタ聖ヨゼフ誓願式
20日 河原町信愛幼シスター、教職員ミサ
21日 女子ドミニコ(今出川)誓願式
22日 ④聖母の家学園理事会と卒業式
24日 教区内カトリック教職員研修会
25日 社法(京都カリタス会理事会)
26日 こひつじ苑訪問
29日 ④大和八木教会堅信ミサ
30日 ラブラント師来訪(福岡大神教授)
31日 J C R R 常任委(明治神宮)
- 4月
- 1日 諸宗教代表者と連絡
3日 佐々木師(OP)来訪
4日 神の園訪問
5日 ④河原町ミサ
6日 オブスディ代表来訪
8日 ヨゼフ(カロン)会管区長面談
9日 教皇歓迎財務担当者面談(東京)
10日 東京神学院常任委
- 5月
- 2日 聖母の騎士総長、副総長来訪
2日 ④ピジョン作り(合宿(北白川)(信徒養成コース))
4日 (セントヨゼフ25周年 津)
5日 高山右近子どもまつり(大和榛原)
7日 S S N D 総本部教育担当システター来訪
5日 ④ A P H D 京都現地学習
9日 在家O F M 全国評議会、ピジョン事務局会
10日 ④第18回召命の日 西院教会堅信ミサ、藤堂師・岡田氏面談

- 11日 ローマ諸宗教聖省と電話連絡
12日 ④ M M 日本管区総会
13日 ビジョン事務局会議
14日 ワレサ議長団と特に教皇、狙撃事件にあたり、特別祈願ミサ
こひつじの苑9周年ミサ 教皇歓迎委関係者会議
15日 白柳大司教と面談、J M P C 理事会(東京)

レクイエスカント

(永遠の安らぎ)

ヨゼフ・A・ハント師(メリノール)人々に愛され親しまれた、ハント師は、4月15日、聖母病院でガンのため死去。享年87才。

葬儀ミサは、4月22日、同会管区長ラツキ師主式、古屋司教外、多数の司祭の共同司式のうちに盛大に行われた。

同師略歴

明治26年10月17日、マサチュセッツ生れ
大正2年9月7日メリノール入会
同 9年5月29日 司祭叙階

後神学校奉職、平壤で司牧、教区長等
歴任後、46年来日、西陣、草津病院、大津、三雲児童園で献身的に働かれた。

師の働きを感謝すると共に御冥福を祈る。

Mr. J. G. ハーコム (74才) 4月16日朝、シドニーで帰天。

ハーコム師(大和高田教会)ご令兄)

製菓材料・舶来食品
和洋酒・修道院製クッキー
ミサ用ブドー酒

タキノ

〒604 京都市中京区錦小路通鳥丸東入
電話 (221) 0976-7

永久保存版
教皇訪日公式記録
ヨハネ・パウロ二世

A4判／極上製／箔押し・箱入り

●定価6500円
主婦の友社刊

お求めはお近くの書店、キリスト
教系書店、聖パウロ女子修道会へ

訂正とお詫び

第72号、広告欄の「厚志社」の電話番号が間違いました。81713506を87113506に訂正してお詫び申し上げます。

ヨゼフ大野昇次氏(75才) 4月29日夜
(Sr. 大野、幼きイエズス会信愛幼稚園長
殿父)
(紙面の都合上「ミサ シリーズ」は、
お休みさせていただきます)

五十五年度の現勢調査を見て

京都教区五十五年の現勢を考えると、先づ、信徒実数が昨年よりも1%増加していることである。これは現実的に教会と結ばれている信徒の増加を意味するが、他方では、信徒実数の減少している小教区が十八もあることを見逃してはならない。特に人口の流出、特に青年の都会への移動の多い京都府北部の教会は、%の教会で実数の減少を見ている。受洗者数は他の地区と余り変らないのに、減少しているのは、転入より転出がはるかに多いのであろう。教区全体を見て、海に近く大都会から離れている地方の教会の司牧が如何に困難かを教えられる。

また、結婚の数が昨年より少し増加しているのに、洗礼も教会学校生徒数も減少しているのは何故であろうか。非カトリック者同志の結婚の増加か、カトリック家庭の子女の減少または、宗教教育への無関心なのか、見極める必要があるのではないだろうか。

喜ばしいことは、極く僅かではあつても邦人司祭、神学生、邦人修道女、志願者の増加である。宣教会の神学生が三名減少したが、これは、今年司祭として日本に帰って来られる人々なので、かえって喜ばしいことである。

学校を見ると、在籍学生、生徒数は全体として少し増えている(小・中は減少)が、在籍カトリック信者数は少し減少している。カトリック信者がカトリック校に入学しない理由はどこにあるのだろうか

洗 礼						結婚		転入		転出		教会学校						死 者	
大 人		子 供		臨 洗		C	M	(＋)		(－)		信 者		未 信 者					
男	女	男	女	男	女			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
3	11	4	1	—	2	4	19	7	12	13	19	26	45	55	80	5	1		
1	5	1	3	—	—	1	1	3	12	12	17	14	16	4	27	1	—		
1	4	4	2	1	—	—	6	10	18	2	7	10	20	5	5	1	1		
3	3	2	1	2	1	1	5	3	3	7	16	10	12	4	14	5	2		
1	1	1	—	—	—	2	2	2	3	2	5	8	12	—	—	2	—		
4	—	—	—	—	—	—	3	10	8	3	6	10	8	6	30	—	1		
3	1	1	5	2	—	2	1	1	6	5	6	8	13	4	8	1	—		
1	5	1	6	—	—	—	3	4	3	2	3	7	15	1	2	1	—		
3	12	6	6	—	1	1	7	6	11	11	12	26	31	4	4	3	3		
7	8	6	3	—	3	1	13	4	10	15	28	23	25	—	—	2	1		
2	9	1	1	—	—	1	2	18	19	3	6	10	15	—	5	—	1		
2	2	6	3	—	2	—	3	8	19	6	12	15	25	10	20	1	1		
3	—	3	2	—	—	—	—	1	1	—	—	20	35	—	—	—	1		
—	—	—	1	1	—	—	—	1	2	1	4	10	15	2	4	1	—		
2	—	—	2	1	—	—	—	4	5	10	4	5	5	15	35	—	1		
1	1	1	—	—	—	—	2	—	1	2	2	—	1	4	10	2	4		
2	9	5	5	1	—	—	7	9	13	5	6	15	23	10	43	3	2		
2	8	2	3	—	—	1	1	15	23	7	9	10	11	47	63	—	—		
1	2	1	1	—	—	—	2	2	2	—	1	18	20	—	5	1	—		
2	1	1	4	—	—	1	3	—	—	—	—	7	8	8	10	1	2		
2	3	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	9	11	4	6	1	—		
—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	3	2	12	4	7	8	2	4		
2	5	—	2	2	2	—	4	—	6	1	11	10	12	2	6	1	2		
—	—	—	—	—	1	—	1	—	—	3	2	2	1	4	—	—	—		
—	2	1	—	—	—	1	—	—	1	1	3	5	7	—	1	—	3		
—	2	—	1	—	2	1	—	—	—	1	2	10	15	—	3	—	3		
—	3	2	—	—	—	—	1	1	2	—	2	5	5	10	35	—	—		
—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	4	—	2	4	—	—	—	1		
—	—	1	—	—	—	—	—	2	—	3	2	5	2	2	3	—	—		
48	98	52	53	10	14	17	89	112	180	122	188	312	416	208	427	34	34		

概況

面積	18097.18km ²
(京都府・滋賀県・奈良県・三重県)	
人口	6,516,064
信者総数	20,015
信者実数	16,775
求道者数	458
小教区数	46
巡回教会数	15

聖職者・伝道士

	邦人	外人
司教	2	
司祭	23	60
修道士	1	12
神学生	教区 4	
	修道会	1
修道女	259	43
伝道士(婦)	24 (信徒)	13 (修道)

か。身心障害者施設の入所者が少し増加しているのは、カトリック施設がそれだけ多くの責任を社会に対して持つことになったことを示しているのであらう。

五十五年度だけを見れば、三五八名の信徒数の増加があったが、五十四年と比較すると、一〇一名減となる。

司祭一人に対する信徒数二・三〇・六人、修道女一人に対し、六九・二人、司祭、修道士一人に対し、男子信徒数八〇・五人、修道女一人に対し、女子信徒数四・三人となる。召命のことを考える時この数字が何等かの意見を持っているなら幸いである。

(斎木)

	小教区	信徒数							ミサ参加		求道者	
		総数			実数			1979	日曜日	復活祭		
		男	女	計	男	女	計		男女	男女	男	女
京都市	河原町	652	1,002	1,654	643	980	1,623	1,574	700	1,000	10	15
	伏見	158	224	382	149	204	353	354	120	250	3	34
	桂	239	338	577	214	311	525	493	150	210	3	8
	衣笠	334	364	698	274	279	553	585	180	323	1	3
	北白川	100	125	225	70	95	165	168	70	120	1	5
	九条	235	306	541	180	208	388	353	70	130	—	5
	小阪	94	161	255	92	155	247	220	50	80	—	2
	西陣	153	214	367	128	191	319	304	80	150	2	3
	西院	486	623	1,109	342	431	773	756	200	300	5	5
	高野	150	245	395	117	211	328	388	240	307	12	25
	山科	182	277	459	155	229	384	333	150	300	3	7
京都府南部	桃山	253	353	606	249	345	594	569	170	280	2	7
	青谷	112	134	246	96	116	212	207	80	150	—	1
	亀岡	47	70	117	47	66	113	111	50	80	1	1
	長岡	117	164	281	67	99	166	165	80	140	2	1
	園部	80	150	230	80	150	230	236	45	100	—	2
	宇治	252	289	541	237	279	516	489	180	410	4	13
京都府北部	田辺	246	450	696	243	446	689	654	270	420	2	6
	西舞鶴	151	247	398	141	222	363	354	150	230	—	3
	東舞鶴	67	98	165	51	73	124	127	30	90	3	7
	報恩寺	304	368	672	151	175	326	413	40	158	—	—
	綾部	45	67	112	45	66	111	118	20	60	—	4
	宮津	118	273	391	96	265	361	391	150	20	2	1
	網野	72	76	148	52	76	128	116	20	50	—	—
	加悦	88	153	241	88	153	241	244	70	100	—	1
	岩滝	61	130	191	61	130	191	192	75	85	—	—
	福知山	44	51	95	44	50	94	89	20	40	—	4
	後大宮	73	108	181	67	105	172	177	50	80	—	—
小計	峰山	31	107	138	18	55	73	75	35	55	1	8
	小計	4,944	7,167	13,111	4,197	6,165	10,362	10,255	3,545	5,918	57	181

調査報告

(1980.1.1~12.31)

修道女 ()内は志願者

修道会	邦人	外人	修道会	邦人	外人
メリノール女子修道会	5	10	ノートルダム教育修道女会	60(3)	13
ゴングレガシオン・ド・ノートルダム	3		聖母訪問会	44	
シャルトル聖パウロ修道女会	4		ヌヴェール愛徳および	29(2)	1
カノッサ修道女会	4		キリスト教的教育修道会		
善きサマリア人修道会	3	4	幼きイエズス修道会	20	
聖ウルスラ修道会	2(2)	1	ウイチャタ聖ヨゼフ修道女会	14(4)	6
イエズスの小さい姉妹の友愛会	2		カルメル会	13(1)	
愛徳カルメル修道女会	5		カロンデレットの聖ヨゼフ修道会	9(1)	6
汚れなき聖母の騎子	5		聖ドミニコ女子修道会	7(5)	
聖フランシスコ修道女会			聖心のウルスラ修道会	7	2
聖母カテキスタ会	19		聖ドミニコの宣教修道女会	6	
			合 計	259(18)	43

洗 礼						結 婚		転 入		転 出		教 会 学 校				死 者	
大 人		子 供		臨 洗		C	M	(+)		(-)		信 者		未信者			
男	女	男	女	男	女			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1	1	1	—	—	—	—	—	3	6	2	5	4	10	6	9	—	—
4	4	4	4	1	8	—	6	12	13	6	10	30	40	2	3	3	7
1	1	1	—	1	—	—	1	2	2	—	1	—	1	—	—	—	—
3	3	3	—	—	—	—	8	17	19	1	7	20	26	36	27	—	—
—	—	1	1	1	—	—	1	4	1	—	—	—	—	50	40	1	1
9	9	10	5	3	8	—	16	38	41	9	23	54	77	94	79	4	8
3	2	3	3	—	1	1	9	7	12	11	19	42	32	78	78	1	3
1	2	—	1	1	—	—	1	5	11	—	6	5	5	15	20	2	2
4	2	2	3	—	1	1	2	11	11	5	6	37	38	40	40	—	—
3	5	4	3	—	—	—	2	—	9	5	7	51	40	49	82	1	—
4	6	3	2	—	—	—	—	9	13	4	13	5	9	104	100	—	—
—	2	—	—	—	2	—	—	1	1	—	—	5	2	70	60	2	8
7	6	6	3	—	—	—	—	12	18	5	5	34	24	140	161	—	—
22	25	18	15	1	4	2	14	45	75	30	56	179	150	496	541	6	13
1	4	2	2	2	—	—	—	1	6	7	10	2	8	4	10	—	2
3	7	1	5	—	—	—	1	7	5	1	1	18	20	36	42	—	—
2	7	—	1	—	2	1	5	2	3	4	4	9	7	—	—	4	13
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—
2	3	1	3	—	—	—	—	—	—	8	6	4	7	10	20	1	—
—	—	—	—	—	—	—	—	5	2	—	—	4	2	—	—	—	—
5	7	2	2	1	—	1	8	4	11	5	8	7	10	10	18	4	1
—	—	—	1	—	—	—	1	1	1	—	—	4	2	12	20	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	5	3	—	1	—	—	—	—	1	—
2	5	2	1	—	—	—	2	2	2	4	3	10	15	7	18	—	—
1	7	2	6	—	—	—	1	4	15	9	17	48	53	2	2	1	2
—	—	—	—	—	—	—	—	11	4	3	3	7	2	1	7	—	1
16	40	10	21	3	2	2	18	42	52	41	54	113	126	82	137	10	19
21	172	90	94	17	28	21	137	237	348	202	321	658	769	880	1,184	54	74

1980年度 京都司教区現勢

伝道士(婦)

	男	女
信徒	6	18
修道士	1	12

社会福祉施設

	数	男(男)	女(男)
病院	2	※ベッド数300	
養護施設	1	3	42
保育園	8	417	363
老人ホーム	4	58	216
心身障害者施設	4	173	153
寮	6	5	348

司祭・修道士

	司 祭 修 道 士			
	邦人	外人	邦人	外人
教 区	21			
メリノール宣教会		20		1
オブスディ		1		
マリスト会	1	14		
聖ヴィアートル会	1	10		8
レデンプートル会	1	5		1
男子エスコラピオス修道会		5		1
男子跣足カルメル修道会		3	1	1
ドミニコ会	1	2		
フランシスコ会				
合 計	25	60	1	12

教育施設 () 内は信徒数

	数	男	女
大 学	1		1,155(19)
短期大学	1		350(13)
高等学校	9	1,684(25)	2,957(85)
中 学 校	7	699(17)	1,203(55)
小 学 校	3	831(32)	1,097(49)
幼稚園	26	2,345(77)	2,437(74)

	小 教 区	信 徒 数							ミ サ 参 加		求 道 者	
		総 数			実 数			1979	日曜日	復活祭	男	女
		男	女	計	男	女	計		男 女	男 女		
滋賀県	彦根	117	171	288	117	171	288	289	70	148	—	3
	草津	233	337	570	231	331	562	537	230	359	2	2
	長浜	38	60	98	38	60	98	92	15	45	2	1
	大津	190	288	478	93	169	262	233	120	400	—	14
	唐崎	46	68	114	30	42	72	70	50	70	1	2
	小 計	624	924	1,548	509	773	1282	1,221	485	1,022	5	22
奈良県	奈良	313	503	816	293	465	758	761	300	400	13	32
	富雄	85	167	252	85	167	252	241	80	130	1	6
	郡山	158	229	387	154	218	372	361	120	140	4	8
	高田	210	282	492	209	277	486	472	190	367	—	5
	八木	106	172	278	105	170	275	273	80	150	6	5
	御所	46	88	134	41	77	118	122	70	110	—	3
	登美ヶ丘	133	226	359	133	226	359	317	220	350	5	14
	小 計	1,051	1,667	2,718	1,020	1,600	2,620	2,547	1,060	1,647	29	73
三重県	伊勢	179	355	514	139	223	362	361	60	200	3	20
	桑名	100	146	246	90	131	221	179	70	160	1	1
	松坂	180	300	480	171	190	361	470	195	275	2	6
	尾鷲	21	23	44	21	23	44	44	25	30	1	2
	鈴鹿	89	137	226	89	137	226	230	50	120	3	22
	亀山	24	33	57	19	25	44	37	20	23	2	6
	津	118	197	315	118	197	315	289	144	258	1	7
	津南	56	64	120	56	64	120	117	35	48	—	2
	久居	67	85	152	67	85	152	146	50	100	—	3
	上野	48	92	140	47	90	137	130	70	88	—	2
	四日市	358	506	864	196	267	463	430	245	270	1	6
	名張	35	31	66	35	31	66	60	35	48	—	—
	小 計	1,275	1,949	3,224	1,048	1,463	2,511	2,493	999	1,620	14	77
	総 計	7,894	11,707	19,601	6,774	10,001	16,775	16,516	6,039	10,127	105	353



神と道すがら

通勤黙想

(西院教会 松本 秀友)

今年の四旬節、西院小教区で「通勤黙想」をやってみた。聖イグナチオはその著者「霊操」の総註十九で、手の離せない仕事等で黙想会に出るのがむずかしい人々が、日常生活をしながら黙想指導を受けることについて述べている。「通勤黙想」という言い方は、会社等に通勤しながらやる黙想の意味である。イエズス会の

リバス神父様はあちこちでこの黙想指導をなさっているが、最近「個人指導」による日常生活の中の「霊操」という呼び方をしている。特徴は普通の黙想会に比べて長期にわたること、個人指導で司祭の説教ではなく、本人の霊的指導が中心になる。毎日、みここの黙想と糾明(一日の心の動きのメモ)をする。週一度くらい黙想者の都合のよい時間を決めて面会する等である。

それでは西院教会でやったことを具体的に紹介してみよう。四旬節の始まる一ヶ月くらい前に案内を出し、この四旬節の間、自分が神からいただいている恵みや主キリストとのかかわりを見なおし、一人一人の立っている所から一歩さらに成長するのを手伝いたいと呼びかけた。対象は高卒の年令以上の方とした。老若

男女三十四名の方が参加された。希望面会時間表をわたり、都合のよい時間、都合の悪い時間をそれぞれ記入していただき、大体、週一回、全部で五回の面会ができるように調整した。日曜日は面会時間をとらないで毎日、予約五人の方とそれぞれ一時間くらい面会した。最初の面会では、オリエンテーションと、この黙想に参加した動機、受洗後から今日までの歩み等を話して頂いた。黙想者が今まで受けてきた恵みや神との出会いを自分で確認するのを助けた。指導者の役割は黙想者が自分と神とのかかわりを見る鏡になることである。面会は主の祈りで始め、私の自由な祈りで終った。毎回、祈るための聖書の箇所を三つ与えた。またできるだけ毎日、糾明の時間をもち、一日の心の動きをメモするよう勧めた。前者はみここのばに對する反応を通して自分と神とのかかわりを知り、また育てられていくため、後者は日々の出来事や人とかかわりに對する自分の反応を知って、実際に神さまとのかかわりや福音的価値観がどれだけ育っているかまたはいないかを知るためである。最後の面会では始めの動機の確認と今それについてどう感じているかを話してもらい、私が面会を通して黙想者から感じたことをまとめた。そして復活祭のミサで、受けた恵みの感謝と主の恵みの中に実らせてほしい決心をささげるよう勧めた。一人一人の心に働かれる神さまのみ手に触れさせて頂き、私が一番大きな恵みをいただいたのではないかと今感じている。

エキユメニカルに

南山城地区合同運動会

運動会

南山城地区運動会、エキユメニカルに伏見、桃山、宇治教会の親睦をかねて始まった運動会は次第に広がりを見せ、今年は、山科、九条、田辺、精華、更にカルメル、青谷の一部参加に加え、世光(日基)、桃山基督教教会(聖公会)の参加のもとに、聖母学園グラウンドにおいて4月29日盛大に行われた。

年々この集いは広がりをみせ、教会一致運動の一端として行われつゝ、ある事的特色がある。この地区では何かの行事をする時、出来るだけエキユメニカルな面を大切にしている。例えば日本26聖人の映画を共に観賞した事もあった。

晴天だった空模様も終り頃ぐずつきはじめる様子に、最後はおかげで手際よく後片付けも終り、皆、共に祝ひ合えた喜びと感謝しつつ、散会した。ちなみに、

今年も桃山が優勝、二連勝の喜びにひたつた。

以下、山科、九条、田辺、精華、宇治、カルメル(連合)世光、伏見、桃山基督教教会の順であった。



カランドレッド

聖ヨゼフ会

来日25周年記念

去る5月4日、津セント・ジョセフ学院に於いて、古屋司教、及び20数名の司祭の共同司式によって、来日25周年を祝った。ミサ後、同会総長、副総長出席のもと、祝賀会が開かれ、同会の活動を通して示された神の恵みを感謝すると共に、今後、尚豊かな神の導きを祈り合った。

正義と平和委員会

「部落地名総鑑」署名運動完了

署名運動完了

私もカトリック正義と平和京都協議会は、部落問題にとり組んで以来、四年の月日がたちました。社会において、又教会において、いまだ差別問題があるだけでなく、このままでは、部落問題は決して解決されないと考え、学習会や機関紙を通じて、解放活動を行なってきた。教区の問題も考え合わせた末、「部落地名総鑑」等の差別図書の発行をとりやめてもらう為、昨年九月より全国の教会、修道院、学校、その他のところで、署名運動を展開して参りました。おかげで皆様のご理解と賛同を得、81年3月には、一六九八名の署名と、九一七六四一円のカンパが集まりました。

皆さまのご協力とご厚志に心から感謝しております。この運動の輪がますます広がっていくよう、これからもよろしくお願い致します。

(正平協)

教皇様御回復の ために祈ろう



2月に訪日され、「平和の巡礼者」として、暴力と憎しみに代えて、信頼と思いやりを」と、力強く平和を訴えられた教皇ヨハネ・パウロⅡ世は、5月13日午後(日本時間14日未明)、サン・ピエトロ広場での一般謁見の際に、若い男によって狙撃された。腹部などに重傷を受けたが、幸い生命には危険がない模様である。

一方、京都では、14日、折しも訪洛していた、ポーランド自主管理労組「連帯」のワレサ委員長ら一行の出席で、田中司教がカテドラルで、回復祈願のミサを捧げた。

また、4月29日に、同じ広場で教皇に謁見した村上真理雄神父(司教館)も、動揺を隠しきれない表情で、同日夕方、ミサを捧げた。一般謁見の際に、村上神父ら京都からの一行のために、教皇が、あの流暢な日本語で、「ローマの様に古い歴史を持った、日本の京都からいらしたグループに一言歓迎の言葉を言いたいのです。皆さんを見ると、私の2月の訪問の時、日本人から暖かい受けた歓迎を思い出

します」というあいさつをされた2週間後のことであった。

なお、17日(日)各小教区では、教皇の回復を祈って御ミサが捧げられた。

祭壇を舞台へ

九条教会

ふだん神父以外は上らない祭壇を舞台に、これまで地道ながら活発な演劇活動が続けてきた朝永桐世さんが「三人の京おんな」を演じて京雀の話題をさらっている。音楽関係の催しに提供される教会聖堂のニュースは近來珍しくなくなっている。しかし一般催しに対してはどの施設もまだまだ門戸は堅い。

九条カトリック教会では、信徒の間で地域住民とのコミュニケーション、「開かれた教会」の表現の一つとして聖堂を演劇の舞台として開放することになった。5月9日午後7時に開演。60人ばかりの同好の人達を集めて好演。当の朝永さんの感激も一しおながら口ウソクのおかげだけで演じられた芝居も厳粛さと美しさで観客魅了。九条教会の勇断に拍手。



子羊会 25周年

(本部 高野教会)
会長 伊達よしえ

身障者の祈りの集いである子羊会は5月24日(1時半)高野教会に於て25周年を祝った。この会の目的等については又次号に紹介するとして、まずこの会が単なる、身障者達の親睦会、慰め合う会というのではなく、自分達の出来る事は、まず、祈りと犠牲によって人々に奉仕する事だという自覚と使命感に基づいている。そのため毎月第四日曜日に集まり、ミサ、聖書の分かち合いを大切にしている。勿論信心にとどまらず、子羊の苑建設に際しては母体となつたスロープ作り運動等に積極的に関与している。

インドの子供達に愛の手を

里親制度

責任者 シスター・ジーン

京都ノートルダム女子大
075-781-1173(大学) 075-721-8964(修院)

インドには多くの恵まれない子供達がいる事は、承知の通りであるが、彼らは生活のために初等教育すらも恵まれない事が多い。然し若し月二千元づつ援助して下されば、学費と彼等の生活費がまかえる。

つまりこれは一家を助けるために働かなくてもよい様にその収入の一部として手渡され、又貯金する事によって、

貯金と節約を学ばせる、又タオル、石けん等を与える事によって体を清潔にする事、衣服をつける事等を学ばせる。

この運動は次第に輪をひろげ、現在556名の人々が里親として名をとどけ毎月援助している。例えば桃山では、シスター・ジーンに話をしていただき、31組の里親が生まれた。うち一組は婦人会、あと二組は、一年間廃品回収の収入から一組、「アリンコの瓶」から一組分出来、この二つを復活祭にシスターにお渡しした。アリンコの瓶と云うのは聖堂入口に設けられた、小銭の貯金瓶で、大学から塩酸を入れる大瓶をいただき、それにアリンコの様にささやかだが、塵もつもれば、と云う事で設けられたもの。信者達は、買物のおつりとか、小銭が貯ると入れて行く様にしていく。

里親はシスターを通して里子一人を決めていただく。里親はシスター・ジーンを通して、インドの里子達に毎月二千元送金する(勿論まとめて送って下さってもよい事になっている。)

教会によって多数協力下さる場合、どなたかまとめて、シスターのところへ送って下されば、尚都合がよい様である。尚くわしい事は、直接シスター・ジーンのところへ連絡していただきたい。

「この小さき人々」に出来るだけ多くの人々の暖かい手が差しのべられる様に願っている。



最近教皇訪日以来、私はキリスト教文化について考えをめぐらす。教皇訪日の記念品として種々出されたが、ただ個人が記念として、懐しく思い出すために記念品を持つだけならあまり意味がないと思う、私はあの簡単なステッカーに心動かされた、ステッカーは教皇が来られる少し前から使われたが、そのステッカーの文字やデザインに興味があるのではなく、それを家や、車や目立つ所に貼っているその人である。私はカトリック者で、教皇は私達の敬愛する霊父である、と、教皇を日本に迎えることを心から誇りとして表わしているからである。その意味で教皇を迎えた東京、広島、長崎の集会



教皇 来日と思う

は感動的だったが特に長崎では深い信仰の雰囲気があった。それは長崎のキリスト教文化の結果だと思った。ポーランドにもそれを感じる。ポーランド人であることを誇り、同時にキリスト者である誇りも見出せる。長崎以外の現代日本の各地ではどこにキリスト教文化があるだろうか？。もちろん信者の数が少ないから各地に分散してしまうだろう。しかし信者はもともと日本人であることと同時に、キリスト者である誇りを強く表わすべきだと思う。特に家庭で、家庭祭壇や、十字架、キリストの御絵等を目につくように表わす勇氣と努力がほしいと思う。

(ギルマーチン神父)

小教区 ビジョンに向って



成長する共同体

鈴鹿教会

鈴鹿といえはすぐ鈴鹿峠を想像されるようだが、峠からは関を通り、亀山を経て車で四十分程で鈴鹿市に入る。鈴鹿市は人口一五万五千人で、車のホンダ鈴鹿工場（従業員八千人）で知られ、市内にホンダの下請会社が目点在している。又、鈴鹿市は三重県で一番広い土地面積で、工業、農業地帯が主で、団地も日に日に増えつつある。

この鈴鹿に福音の宣教がはじまったのは、一九五〇年四日市教会から故ライア神父が、神戸町に小さな工場の倉庫を

借りては始められ、同年ルルドの聖母祝日にはじめて鈴鹿市でミサが捧げられたことから「ルルドの聖母」の御保護を頂くことになった。それから四日市教会の分教会として、主任・助任神父が布教に従事された。ついに一九五七年鈴鹿教会は小教区として独立し、初代主任司祭としてギルマーチン神父を迎えた。この時は七〇坪の土地に鶏小屋を信者が労働奉仕で改築し教会として使用していた。しかし不便なことは、司祭の泊る場所がなく四日市教会から通わねばならないことと、信者の数もだんだん増えて狭くなったことから、一九五八年伊勢湾台風で一部破損がきっかけで、近くに幽霊屋敷と呼ばれて放置された空家を借りて、又信者の協力で内部改装し、第三番目の教会となった。司祭と信者は一体となって一日も早く教会をと建設に力を尽し、翌年一九五九年の十一月国道添いに待望の教会建築が完成した。それから三年後、教会の隣りにプレス工場ができ、騒音の悩みがはじまり、一九六一年ギルマーチン神父は高野教会へ転任。次いでライリー神父、ネリグ神父、アダム神父を順に迎えたがその頃には、騒音公害も最高の苦しみとなり、アダム神父も公害問題に取り組まれたが、忍耐の限界となり、ついに現在位置に新しく土地を求め、五度目の教会が建った。その後ジャクソン神父、スミス神父の活躍を得た。

一九七八年一月初代ギルマーチン神父が、十七年ぶりに再赴任となり、信者一同父の帰りを喜び迎えるようにわき立つ

た。現在は亀山教会も鈴鹿の巡回教会となっている。聖母カテキスタ会のシスターが、広い鈴鹿市以外にも関、千里ヶ丘等団地布教に車が大切な足となっている。現在の信者数は二三〇名、世帯数は九十軒で、信者会（会長坂本哲夫・夫人は鈴鹿教会最初の授洗者）は、壮年、婦人、青年の各部があり、小教区は五地区に分れて連結を保ちつつ、典礼、布教、広報、慈善の活動を、信者の自主運営を目指して、自己の信仰を見直しつつ、今日より明日への進展に努力している。最近教会ビジョンが叫ばれているが、鈴鹿教会では三年前からK・J方式を参考にして、信者一人ひとりの意見をもとに「来年の鈴鹿教会の姿」を創り出していた。今年は教区全体の取り組みとあつて「教会の将来のあるべき姿」として意見を収集した。その結果は、

第一、強い信仰は教会の柱（祈りを深め、聖書の熟読、ミサを大切に、）
第二、共同体の成長（お互いの交りに於いて成長され合う。）
第三、神は世の福音化のために私を使われる。（今日出会う人に、神の恵を気づかせるように計る。）

以上の三点が掲げられている。その他子供達に信仰の種をまくことは、教会ビジョンの、重要な点と考え、鈴鹿市内に新聞で案内をちらし、現在五〇名の子供が教会学校に通っている。以上教会内部固めと同時に一人ひとり信者のいるその場、その地域が福音化していくことを切に望みながら、又祈りながら努力している。



お手をどうぞ

「ベトナム難民の里親さがし」のお知らせが出される一方、時報70号まで連載されたベトナムハウス（奈良県御所市）のニュースが退場して久しい。しかしカリタス・ジャパンからの情報によると、ベトナム・カンボジア難民の状態は更に悲惨さを極めると聞く。日本に送られてくる難民も病気に倒れたまま各地の難民

センターに収容される数が多くなったと伝えられる。

永住できる所を切に望みながら「待つこと」の外には、この小さい人々には何もできない。だが、振りかえってみるとベトナムハウスのスタッフ、地元の人達、京都市小山、高野、桃山の各小教区、

ヴィアトル、善きサマリヤ人、メリノール各修道院の協力を得て心暖まる交流思い出が生まれたのも事実である。

去る2月25日、教皇来日、広島訪問を機にベトナムハウスのカトリック信者メンバー15名もババ様を一目見んものと24日夕方から御所を出発。同夜、小山教会の歓迎会に臨んで日ベ歌の披露などで交歓、前記各小教区の信者さん宅、修道院に分宿、翌早朝薄く雪化粧した広島に向

う。

ババ様を自分の目で見る期待に胸をふくらましたこの小さな群れの世話案内をかって出られた斎藤在道氏（小山）は、教皇に会えた喜びがこの小さな群れと同行して更に大きくなったことを感慨深げに語られた。

時を同じくして、オーストラリアの落着き先が急ぎよきまり慌しく出発したトアさん一家4人。先にアメリカ、カナダに今度こそ家族といっしょに住める家を求めて旅立っていった人達を思い、より幸せに暮らしているとの便りが待ち遠しい。5月8日大阪教区下・泉南難民センターの閉鎖により24名が転入。ベ・ハウスでは一層協力の手を求めている。

言の寝ぐら

最近、心を贈る「感謝の心を贈る」等、いろいろな「心」を前面に出すマスコミの宣伝がよく目につきます。人間らしい暖かいおつきあい、あるいは、心の恢復をというわけでしょうか。マスコミが宣伝し

なければならぬ。くらしい人の心というものが伝わりにくいものでしょう

か。心をこめる、思いやりの心は、たしかに自分と思うほどに相手には伝わっていない場合が多いのですが……

教会内外でよく耳にすることは、「頭ではわかっていても心がね」（勿論、私自身も経験したことです）という会話を

熱い心が……

はないでしょうか。

五年前の復活祭に洗礼を受けた私でしたが、その前日、不安といまさらという気持ちで洗礼のとりやめをある外人のシスターに伝えました。そのシスターは普段でもよくわからない日本語なのに、ますま

すわからないことばで、私を説得にかかりました。今何を言われたか記憶にありませんが、あの熱い心と迫力が伝わり何か救われた気がしました。あの時にあの熱い心が伝わらなかつたなと思うとゾッとします。キリストが、心で聞き悟らせ、私を立ち返らせて下さったからと思います。

イエズスは、マタイ五章の山上の垂訓で「心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人のものだからである。」「心の清い者は幸いです。その人は神を見るからである。」とおしえて下さいました。いつも神様に素直に心を開いていきたいのですね。宣伝なしの心が通じあうはず……（I）

都の聖母 讃仰記念ミサと講演会



京都切支丹研究会主催の、都の聖母讃仰記念ミサは、聖母像発見の地、將軍塚山頂で行なう予定であったが、雨のため、北白川教会に場所を移して、5月17日2時、ミサと、切支丹研究の権威チースリク師の講演会が行なわれ、数十名の参加があった。研究会は毎月第3日曜日、河原町教会の地下室で行われている。多数の参加を期待している。

ひとこと

◎家庭内暴力「暴発」アル中、考えてみれば心なき社会砂漠にまきあげられる竜巻「オアシス」どころ「はいづこ」。「生ける水」（ヨハネ4・10）こそナザレトのイエズス、まことの心。私のうちにあるその心を、私の全身で相手に伝える努力をいつもしているだろうか。後めたさで顔が赤くなる。（Y）

◎神様は私達に目もあり耳もある不思議で素晴らしい心をくださいました。その上御子の心も……。私が小さくなる程、素直になる程キリストの心が少しずつにじみ出てゆくように思います。心が大きくされ広げられてゆくように思います。そこで頭と心が近くなり、心の通いがもっと自然になる希望があるのです。（F）

小さき者よ

国際障害者年に思う(3)

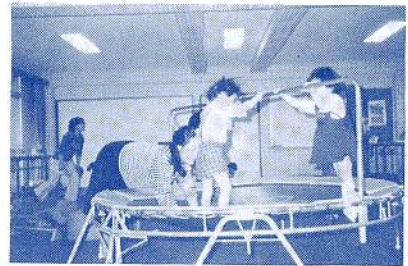
施設紹介—おもちゃライブラリー・あかつきの家

おもちゃライブラリー

(奈良教会)

今から約五年前、当時はまだ障害児を積極的に受け入れる幼稚園や保育園は少なく、たとえ入園できても彼らへの指導はもちろんのこと、理解や配慮のたりない所が多かったです。彼らとその家庭を助ける場の必要性を感じている時、大阪おもちゃライブラリー(当時は北野カトリック教会内)がその一年前に開設されていたのを知り、一九七六年九月、奈良カトリック教会内で、同じ方法を取り入れたおもちゃライブラリーが誕生しました。

「障害をもつ人に愛の手を」と云う事は、単に手伝いをする云う事ではなく、彼等に、居る場を与えようと云う事が大切ではなからうか。



主に言語・知能・人間関係等の発達の違い子供達が遊びに来ます。

ここは専門治療機関ではなく、楽しみながら諸機能を発達させるよう工夫されたおもちゃ(木製)を使って、ボランテニアの人と一緒に遊ぶ「遊び場」なのです。その間母親達は、別室で同じ立場の者同志の親交を深め、はげまし合います。母親にとつてその時は安心して心を聞き話し合えるので、心身共の解放になっているようです。私達は、この活動を折りと経済的援助で支えて下さる方々に励まされながら、キリストの精神に基いた兄弟愛の実践に努めているのです。

あかつきの家

皆さんと共に(尾鷲教会)

「養護学校にいた時は友達がいまいましたが、卒業して尾鷲に帰ると友達がいてなくて淋しかったのです。あかつきの家に通いだしてから友達もでき、さらに良かったことは、自分なりに働けることです。働きたいけれども障害が重くて働けないでいる人がたくさんいます。まだ私は身体が動くだけいいと思います。あかつきの家です。

ろいろな所へ連れて行ってもらったりして生活の場がひろくなりました。今、私はとても楽しいです。

ある冊子に発表したA子さんの作文です。皆さんと共に「生活できる地域社会を願って活動しています。本五十六年度中に、公立の授産施設(定員三〇名、事業費一億一千万円)に発展します。けれども、どんなに立派な建物が完成しても、「福祉の心」を失い、皆さんと隔離され、孤立した場になってしまつたら障害者にとつて苦痛を感じるでしょう。人びとの中で孤独になることは障害にもましてつらいことなのですから……。

思いをひとつにして、今日まで育てて頂きました皆様に感謝致します。帯ノコ、電動カンナ大小四台、丸ノコ二台、ベルトサンダー等、ひととおりの木工機具が設備され、地場産業の木材を生かして、小物の生活用品を製作しています。紀州路を旅されたとき、どうぞ、お立寄り下さい。宿泊も出来ます。

(湯浅正悟)

〒519-36 尾鷲市中村町4-23
電話(0597)2-8868
(夜間210080 カトリック教会)



時報が対話「おう」書く手段なら、者も読む者も、投稿者も、編集者も、心を開けあ

◆時々自分が、ベチャンコのチューブ歯磨入れの様に感じる時があります。あースランプ。無味乾燥。その中から何かをしぼり出さねばならぬ苦しさ。(MT)

◆「軍事防衛費を私に下さい。そのお金で新しい命を育てます。」はマザー・テレサのことば。キリストが見えている人の言葉は神のみ言を具す具体性がある。(Y)

◆いい方達との出会いによって、とても心豊かな2年半を過ごさせていだきました。愛しさを残してお別れに心が痛みます。スタッフの皆様頑張つてね。つたない文章をお読み下さった皆様方へ感謝ノ 神に感謝ノ (I)

◆いろいろな問題が同時にふりかかってきた。あきらめてはいけないと思うけど、あきらめなくなる現状の自分を受けとめてくれるのは神だけなのか。(J)

◆〇ヶ月ぶりに編集部の空気を味わった。目には見えないものの、手ごたえのある確かな共同体が、割と悲観的な今号の開心にもかかわらず勇気を与えてくれる。(き)

◆食べても食べてもくならないお馳走、飲んでも飲んでくならないお酒、もつてないけど、やつてもやつてもくならない仕事、もつてない。(亜)

本紙を福音宣教に役立たせるため、「近所、お友だちにもお見せ下さい。」